

<平成29年度 ハローオリンピズム事業>

# オリンピック教室

実施報告書

千葉県 香取市立佐原第五中学校

Olympic  
Movement



公益財団法人日本オリンピック委員会



現行の学習指導要領は平成21年（2009）4月に公示され、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目 体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが明確化されました。そこには、中学校3年生の保健体育の「体育理論」の学習内容に、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会等は、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていること」とオリンピックの意義が明示されております。

これを受けて日本オリンピック委員会（JOC）では、平成23年度（2011）から、体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、「ハローオリンピズム事業」の一つとして、授業形式で行う「オリンピック教室」を実施しております。

近代オリンピックの創始者ピエールド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表として実際にオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その榮譽を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められております。このようなオリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることも期待しております。

「オリンピック教室」の授業は、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）及びオリンピック精神の教育的価値等を伝えます。また同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身に学習してもらうこともねらいとしております。

平成23年に施行された「スポーツ基本法」の前文の一部に「スポーツは、世界共通の人類の文化であり、次代を担う青少年の体力を向上させるとともに、他者を尊重しこれと協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い実践的な思考力や判断力を育む等人格の形成に大きな影響を及ぼすものである」との記述があります。生徒のみなさんが「オリンピック教室」で学習する内容は、まさにこの基本法に記された精神や態度等を日常生活の中へ具現化することを後押しするものであると考えています。

平成29年4月

公益財団法人 日本オリンピック委員会



- 実施目的** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、オリンピック自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、日常生活にも活かすことの出来るものであることを授業を通して学習してもらう
- 名 称** : JOCオリンピック教室
- 主 催** : 公益財団法人 日本オリンピック委員会
- 後 援** : スポーツ庁
- 協 力** : 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対 象** : 中学2年生
- 講 師** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）  
※派遣オリンピックはJOC側にて選定
- 期 間** : 平成29年4月～平成30年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数** : 50校程度
- 実施方法** : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1時限目  
運動の時間 (50分)



2時限目  
座学の時間 (50分)



※学校の通常の授業時間をベースに実施  
※運動の時間と座学の時間の間に10分の休憩時間があります



## 1時限目

### 運動の時間

オリンピックの専門競技の技術指導（＝スポーツ教室）ではなく、  
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

#### 挨拶（5分）

#### 準備体操（10分）

#### 主運動（30分）

#### まとめ（5分）



自己紹介  
今日の学習内容の確認



準備体操



主運動  
（作戦タイム等を受け、  
生徒が考える機会を作る）



運動の授業のまとめ

※時間は目安です  
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

## 2時限目

国際オリンピック委員会（IOC）が推進する「オリンピックの価値」等を、  
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際に  
オリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると  
同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

### 座学の時間

#### 挨拶・自己紹介（10分）

#### オリンピックの価値を伝える（10分）

#### グループワーク（20分）

#### まとめ（10分）



学習内容の確認



写真・映像等を使用  
した自己紹介



オリンピック自身の経験に  
基づく「オリンピックの価値」等  
を伝える



グループ（個人）ワークで  
話し合った内容を発表



全体のまとめ/記念撮影

※時間は目安です  
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます





- 期 日 : 平成29年9月28日 (木)
- 場 所 : 香取市立佐原第五中学校
- ク ラ ス : 2年1組 (26名)
- オリンピック : 千田 健太 先生 (フェンシング)
- 授業のながれ : 座学の時間 (3時限) ※気象状況の影響により、座学→運動の順で実施

1. 自己紹介と授業の目的を確認



2. オリンピックの価値を伝える



・簡単な自己紹介の後、東京2020大会では千葉県でフェンシングが実施されることを話し、今日の授業ではフェンシングやオリンピックについて理解を深めてほしいと伝えた後、自身の経験を交えながら3つのオリンピックバリューについて説明。

3. グループワーク



- ・発問:自分が持っている夢 (目標) を実現するためにはできることは何か、バリューに当てはめて考える。
- ・発表:諦めない精神力、失敗を恐れない、毎日努力を積み重ねる (エクセレンス)、仲良くする、思いやりを持つ (フレンドシップ)、相手や自分の夢を好きになる、興味を持つ (リスペクト) 等の意見が挙げられた。

4. まとめ



・目標を持って日々頑張ることや実現させるために継続することが大切であり、自信をつけることが何よりも重要なので、小さな目標を立て成功体験を積み重ねてほしい。諦めないで継続することの大切さを確認し、こういう考え方を大切にしながら、日常生活を送ってほしい、と伝え授業終了。



■授業のながれ：運動の時間（4時限）

1. 自己紹介～授業の目的確認



2. 準備体操



・簡単な自己紹介後、実際に使用する剣を見せ、先生の体につけた風船割るデモンストレーションを実施し、フェンシングについて簡単に紹介。  
今日はフェンシングの動きを取り入れた運動をすると伝え、準備体操に移る。

3. 主運動



・班ごとに分かれてフェンシングの前進（マルシェ）、後退（ロンベ）の動きを取り入れたリレーを実施。頭にマーカーを5個重ねて置き、落とさないように進む。

4. まとめ



・今日は2時間を通して、オリンピックについて学んできた。オリンピックバリューは運動の時間でも感じられたように、普段の生活にも活かしてほしいと伝える。  
・東京2020大会では千葉県でフェンシング競技が実施されるのでぜひ興味を持って見てほしいと伝え、授業終了。





- 期 日 : 平成29年9月28日 (木)
- 場 所 : 香取市立佐原第五中学校
- ク ラ ス : 2年2組 (27名)、2年3組 (26名)
- オリンピアン : 岡里 明美 先生 (バスケットボール)
- 授業のながれ : 運動の時間 (3時限、5時限)

### 1. 自己紹介～授業の目的確認



### 2. 準備体操



・岡里先生から自己紹介した後、運動の時間の約束事として「元気に積極的にチャレンジすること」、「先生が話している時にボールを床につかないこと」、「班ごとに協力していろんな意見を出し合うこと」の3つを約束し、ボールを使ったウォーミングアップを実施。

### 3. 主運動



・班ごとに分かれバスケットボールのシュート競走を実施。各班5回シュートを決める早さを競い、作戦タイムを設けながら全3回行った。

### 4. まとめ



・アイデアを出し合って取り組んでいたことを伝え、次の座学の時間では岡里先生がオリンピックに出場するまでの経験を話すので、運動の時間に感じたこととオリンピックバリューがどのように結びつか考えてほしいと伝え、授業を終えた。



■ 授業のながれ： 座学の時間（4時限、6時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



・岡里先生がオリンピックへ出場するまでの経験を話るので、オリンピックバリューについて考えようという授業の目的を確認。アトランタ大会の映像を見せながら競技について紹介し、自身の経験を交えながら3つのオリンピックバリューについてエクセレンスは「チャレンジすること」、フレンドシップは「協力し合うこと」、リスペクトは「感謝、思いやり」と説明。

2. オリンピックの価値を伝える



3. グループワーク



- ・発問①: 運動の時間に実践できていたオリンピックバリューを書き出そう。
- ・発表①: 1番になるという目標を立てて頑張った（エクセレンス）、仲間を信じた（フレンドシップ）、他のチームを応援した、相手を思いやった（リスペクト）等の意見が挙げられた。
- ・発問②: 普段の生活の中でオリンピックバリューに当てはまることを考えよう。
- ・発表②: 様々なことに挑戦する（エクセレンス）、友達を大切にす、話し合う（フレンドシップ）、部活の先輩に敬意を払う、しっかり挨拶する（リスペクト）等の意見が挙げられた。

4. まとめ



- ・発表してもらった通りオリンピックバリューは皆の身近にもあることだと伝え、相手をリスペクトすることも素晴らしいが、自分自身をリスペクトすることも忘れないでほしいと話す。
- ・2020年には東京でオリンピックが開催されるが、選手以外にもボランティア等様々な関わり方があるので、皆もオリンピックに携わり、もっと身近に感じてほしいと伝え、授業終了。





■ 集 合 写 真

2年1組



2年2組





■ 集合写真  
2年3組



■ 記念品贈呈  
2年1組



2年2組



2年3組



■ 証明書贈呈

